

事前伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

注1

金沢大学大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻 (M)

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 金沢大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務部総務課
職名・氏名	法規・調査係長・ ^{モリヤ} 元谷内洋志
電話番号	076-264-5014
(夜間)	076-264-5014
F A X	076-234-4010
e-mail	houki@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 (通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学院等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	10
4	教員組織の状況	13
5	その他全般的事項	14

1 調査対象大学院等の概要等

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 金沢大学

(2) 大学院名

金沢大学大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻 (M)

(3) 大学の位置

〒920-1192
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教育実践高度化専攻 修士(教育学)	年 2	人 35	人 70	基礎となる学部名等 人間社会学域学校教育学類

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合には, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	倍	
A 入学定員	(-) 35	(-) 35	0.72	社会人は, 一般選抜, 社会人特別選抜及び現職教員特別選抜による。なお, 各選抜方法ごとに定員は定めていない。	
志願者数	(8) 26	(10) 43			
受験者数	(8) 24	(10) 42			
合格者数	(8) 21	(10) 36			
B 入学者数	(7) 21	(10) 30			
入学定員超過率 B/A	(-) 0.6	(-) 0.85			

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[1] 21	[3] 30		
2年次	[-] -	[1] 19		
計	[1] 21	[4] 49		

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) 一④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [0] 2	計 [1] 21	[0%] 9.52%
	うち平成21年度入学者 2人	うち平成21年度 21人	
	(主な退学理由) 教員採用試験合格のため1人、進路変更1人		
平成22年度	計 [0] 0	計 [4] 51	[0%] 0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 21人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 30人	
	(主な退学理由)		

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

2 授業科目の概要

<大学院教育学研究科 教育実践高度化専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	[全コース共通科目]					40	23	3				
	教育実践基礎研究	1前	2			42	24	2				教員の異動による変更 (22)
	教育実践応用研究 A	1後		2		37	28	3				教員の異動による変更 (21)
	教育実践応用研究 A	1後		2		40	23	3				教員の異動による変更 (22)
	教育実践応用研究 A	1後		2		42	24	2				教員の異動による変更 (21)
	教育実践応用研究 A	1後		2		37	28	3				教員の異動による変更 (21)
	教育臨床コース [コース共通科目]											
	教育臨床演習 A	前		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	教育臨床演習 B	後		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	[修了研究科目]											
	課題研究 I (修士論文指導)	1前		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	課題研究 II (修士論文指導)	1後		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	課題研究 III (修士論文指導)	2前		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	課題研究 IV (修士論文指導)	2後		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	教育実践発展研究 I a	1前		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	教育実践発展研究 I b	1後		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	教育実践発展研究 II a	2前		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	教育実践発展研究 II b	2後		2		7	5	6	1			教員の退職による変更 (22)
	[選択科目]											
	学校教育基礎特論 A (教育史)	1後		2				1				
	学校教育基礎特論 B (教育の哲学と倫理)	1前		2				1				
	学校教育基礎特論 C (教育社会学)	1前		2				1				
	学校教育基礎特論 D (生涯学習論)	1後		2				1				時間割調整の理由により、配当年次の変更 (22)
	学校教育臨床特論 A (学校経営学)	1前		2				1				
	学校教育臨床特論 B (カリキュラム論)	1前		2				1				
	学校教育臨床特論 C (授業論)	1前		2				1				
	学校教育臨床特論 D (生活指導論)	1前		2				1				
	学校教育臨床特論 E (情報メディア教育)	1前		2				1				
	学校教育基礎演習 A (教育史)	1前		2				1				

				30		2		教員の異動による変更 (22)
				32	15	+		教員の異動による変更 (21)
	教育実践発展研究Ⅱa	2前	2	27	19	2		教員の異動による変更 (22)
				32	15	+		教員の異動による変更 (21)
	教育実践発展研究Ⅱb	2後	2	27	19	2		
	[選択科目]							
	国語科授業研究特論	1前	2		1			
	国語科授業研究演習	1後	2		1			
	国語科教科内容研究特論A	1前	2	1				
	国語科教科内容研究特論B	1前	2	1				
	国語科教科内容研究特論C	1前	2	1				
	国語科教科内容研究特論D	1前	2	1				
	国語科教科内容研究特論E	1前	2	1				
		1後						
	国語科教科内容研究特論F	1前	2	1				時間割調整の理由により、配当年次の変更 (22)
	国語科教科内容研究演習A	1後	2	1				
	国語科教科内容研究演習B	1後	2	1				
	国語科教科内容研究演習C	1後	2	1				
	社会科授業研究特論	1前	2	1				
	社会科授業研究演習	1後	2	1				
	社会科教科内容研究特論A	1前	2	+				教員の退職による変更 (22)
	社会科教科内容研究特論B	1前	2		1			
	社会科教科内容研究特論C	1前	2		+			教員の退職による変更 (22)
	社会科教科内容研究演習A	1後	2	+				教員の退職による変更 (22)
	社会科教科内容研究演習B	1後	2		1			
	社会科教科内容研究演習C	1後	2		+			教員の退職による変更 (22)
	数学科授業研究特論A	1前	2	1				
						1		教員の採用による変更 (22)
	数学科授業研究特論B	1前	2		+			教員の退職による変更 (21)
	数学科授業研究演習	1後	2	1				
	数学科教科内容研究特論A	1前	2		1			
	数学科教科内容研究特論B	1前	2	1				
	数学科教科内容研究特論C	1前	2		1			
	数学科教科内容研究特論D	1前	2		1			
	数学科教科内容研究演習A	1後	2		1			
	数学科教科内容研究演習B	1後	2	1				
	数学科教科内容研究演習C	1後	2		1			
	数学科教科内容研究演習D	1後	2		1			
	理科授業研究特論	1前	2	1				
	理科教科内容研究特論A	1前	2	1				
	理科教科内容研究特論B	1前	2	1				
	理科教科内容研究特論C	1前	2	1				
	理科教科内容研究特論D	1前	2	1				
	理科教科内容研究特論E	1前	2		1			
	理科教科内容研究演習A	1後	2	1				
	理科教科内容研究演習B	1後	2	1				
	理科教科内容研究演習C	1後	2	1				
	理科教科内容研究演習D	1後	2	1				
	理科教科内容研究演習E	1後	2		1			
	音楽科授業研究特論	1前	2	1				
	音楽科教科内容研究特論A	1前	2		1			
	音楽科教科内容研究特論B	1前	2		1			
	音楽科教科内容研究特論C	1前	2	1				
	音楽科教科内容研究特論D	1前	2					
					1			
	音楽科教科内容研究特論E	1前	2			+		昇任による変更 (21)

音楽科教科内容研究演習 A	1後		2			1			
音楽科教科内容研究演習 B	1後		2			1			
音楽科教科内容研究演習 C	1後		2		1				
						1			
音楽科教科内容研究演習 D	1後		2				4		昇任による変更 (21)
図画工作・美術科授業研究特論	1前		2		1				
図画工作・美術科教科内容研究特論A	1前		2		1				
図画工作・美術科教科内容研究特論B	1前		2			1			
図画工作・美術科教科内容研究特論C	1前		2		1				
図画工作・美術科教科内容研究特論D	1前		2		1				
図画工作・美術科教科内容研究演習 A	1後		2		1				
図画工作・美術科教科内容研究演習 B	1後		2			1			
図画工作・美術科教科内容研究演習 C	1後		2		1				
図画工作・美術科教科内容研究演習 D	1後		2		1				
保健体育科授業研究特論	1前		2			1			
保健体育科教科内容研究特論A	1前		2		1				
					1				
保健体育科教科内容研究特論B	1前		2			4			昇任による変更 (22)
保健体育科教科内容研究特論C	1前		2			1			
保健体育科教科内容研究特論D	1前		2		1				
保健体育科教科内容研究特論E	1前		2				1		
保健体育科教科内容研究特論F	1前		2			1			
保健体育科教科内容研究演習A	1後		2		1				
					1				
保健体育科教科内容研究演習B	1後		2			4			昇任による変更 (22)
保健体育科教科内容研究演習C	1後		2			1			
保健体育科教科内容研究演習D	1後		2		1				
保健体育科教科内容研究演習E	1後		2				1		
保健体育科教科内容研究演習F	1後		2			1			
	1後								
家庭科授業研究特論	1前		2			1			時間割調整の理由により、配当年次の変更 (22)
家庭科教科内容研究特論 A	1前		2		1				
家庭科教科内容研究特論 B	1前		2			1			
家庭科教科内容研究演習 A	1後		2		1				
家庭科教科内容研究演習 B	1後		2			1			
英語科授業研究特論	1前		2		1				
英語科授業研究演習	1後		2		1				
英語科教科内容研究特論A	1前		2		1				
英語科教科内容研究特論B	1前		2			1			
英語科教科内容研究特論C	1前		2			1			
英語科教科内容研究特論D	1前		2		1				
英語科教科内容研究特論E	1前		2				1		
英語科教科内容研究演習 A	1後		2		1				
英語科教科内容研究演習 B	1後		2			1			
英語科教科内容研究演習 C	1後		2			1			
英語科教科内容研究演習 D	1後		2		1				
英語科教科内容研究演習 E	1後		2				1		
特別支援教育コース									
[修了研究科目]									
障害児研究法 A	1前	2				2			} 2単位選択必修
障害児研究法 B	1後		2		1	1			
障害児研究法 C	1後		2		2				
課題研究 I	2前		2		3	3			
課題研究 II	2後		2		3	3			
特別支援教育実践発展研究 I	2前		2		3	3			
特別支援教育実践発展研究 II	2後		2		3	3			

[選択科目]									
特別支援教育特論	1前	2			1				
聴覚障害教育学特論	1前	2			1				
	1後								時間割調整の理由により、配当年次の変更(22)
障害児福祉教育特論	1前	2			1				
障害児心理学特論A	1前	2		1					
障害児心理学特論B	1前	2							
発達障害指導法特論	1前	2		1					
	1後								時間割調整の理由により、配当年次の変更(22)
言語障害指導法特論	1前	2			1				
知的障害機構特論	1前	2		1					
特別支援教育演習	1後	2			1				
聴覚障害教育学演習	1後	2			1				
障害児心理学演習A	1後	2		1					
障害児心理学演習B	1後	2							
発達障害指導法演習	1後	2		1					
言語障害指導法演習	1後	2			1				
知的障害機構演習	1後	2		1					
障害児臨床実習	1通	4		2	2				

(注)・事前伺い手続書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。

・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	169	0	171	2	169	0	171	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	なし					

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入

してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\quad\quad\quad} 0$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

3 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 開 設 超 過 率	年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間社会学域									
人文学類	4	145		435	学士 (文学)	1.05	H20	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	520	学士 (法学)	0.99	H20	金沢市角間町	
経済学類	4	185		555	学士 (経済学)	1.05	H20	金沢市角間町	
学校教育学類	4	100		300	学士 (教育学)	1.04	H20	金沢市角間町	
地域創造学類	4	80		240	学士 (地域創造学)	1.06	H20	金沢市角間町	
国際学類	4	70		210	学士 (国際学)	1.07	H20	金沢市角間町	
理工学域									
数物科学類	4	84		252	学士 (理学)	1.08	H20	金沢市角間町	
物質化学類	4	81		243	学士 (理学又は工学)	1.08	H20	金沢市角間町	
機械工学類	4	140	学域 共通 3年次 40	420	学士 (工学)	1.07	H20	金沢市角間町	
電子情報学類	4	108		324	学士 (工学)	1.10	H20	金沢市角間町	
環境デザイン学類	4	74		222	学士 (工学)	1.11	H20	金沢市角間町	
自然システム学類	4	102		306	学士 (理学又は工学)	1.08	H20	金沢市角間町	
				40		1.10			
医薬保健学域									
医学類	6	112	3年次 5	317	学士 (医学)	1.00	H20	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35		105	学士 (薬学)	1.02	H20	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40		120	学士 (創薬科学)		H20	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	250	学士 (看護学)	1.00	H20	金沢市小立野5-11-80	

放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	125	学士 (保健学)	1.03	H20	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	125	学士 (保健学)	0.97	H20	金沢市小立野5-11-80	
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	65	学士 (保健学)	0.94	H20	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	65	学士 (保健学)	0.99	H20	金沢市小立野5-11-80	
文学部									
人間学科	4	—		—	学士 (文学)	—	S55	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
史学科	4	—		—	学士 (文学)	—	S55	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
文学科	4	—		—	学士 (文学)	—	S55	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	—		—	学士 (教育学)	—	H8	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
障害児教育教員養成課程	4	—		—	学士 (教育学)	—	H8	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
人間環境課程	4	—		—	学士 (教育学)	—	H8	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
スポーツ科学課程	4	—		—	学士 (教育学)	—	H1	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
法学部									
法政学科	4	—	3年次 10	—	学士 (法学)	—	H16	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
経済学部									
経済学科	4	—		—	学士 (経済学)	—	S55	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
理学部									
数学科	4	—		—	学士 (理学)	—	S24	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
物理学科	4	—		—	学士 (理学)	—	S24	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
化学科	4	—	学科 共通 3年次 10	—	学士 (理学)	—	S24	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
生物学科	4	—		—	学士 (理学)	—	S24	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
地球学科	4	—		—	学士 (理学)	—	H8	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
計算科学科	4	—		—	学士 (理学)	—	H8	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
医学部									

医学科	6	—	3年次 5	—	学士 (医学)	—	S24	金沢市宝町13-1	平成20年度より 学生募集停止
保健学科									
看護学専攻	4	—	3年次 10	—	学士 (看護学)	—	H8	金沢市小立野5- 11-80	平成20年度より 学生募集停止
放射線技術科学専攻	4	—	3年次 5	—	学士 (保健学)	—	H8	金沢市小立野5- 11-80	平成20年度より 学生募集停止
検査技術科学専攻	4	—	3年次 5	—	学士 (保健学)	—	H8	金沢市小立野5- 11-80	平成20年度より 学生募集停止
理学療法学専攻	4	—	3年次 5	—	学士 (保健学)	—	H8	金沢市小立野5- 11-80	平成20年度より 学生募集停止
作業療法学専攻	4	—	3年次 5	—	学士 (保健学)	—	H8	金沢市小立野5- 11-80	平成20年度より 学生募集停止
薬学部									
薬学科	6	—	—	—	学士 (薬学)	—	S24	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
創薬科学科	4	—	—	—	学士 (創薬科学)	—	H18	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
工学部									
土木建設工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	S60	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
機能機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	H8	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
物質化学工学科	4	—	学科 共通 3年次 30	—	学士 (工学)	—	S61	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
電気電子システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	S59	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
人間・機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	H8	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止
情報システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	S29	金沢市角間町	平成20年度より 学生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

4 教員組織の状況

<教育学研究科 教育実践高度化専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
68	0	68	0	66	0	66	0	
(68)	(0)	(68)	(0)	[Δ2]	[0]	[Δ2]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

5 その他全般的事項

<教育学研究科 教育実践高度化専攻>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成22年 7月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_syomu/jyouhoukoukai/secchi/)

(注) ・ 「C」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてにメールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AG報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。